はじめに

独立行政法人科学技術振興機構　理事長
北澤　宏一

当機構では、平成８年度より地域における産学官連携の支援を進めてまいりました。科学技術振興事業団（当時）は平成８年度に「地域研究開発促進拠点支援事業（RSPネットワーク構築型）」を開始し、翌平成９年度には選定した地域における新技術・新産業の創出を目指して「地域結集型共同研究事業（現・地域結集型研究開発プログラム）」を立ち上げ、地域における産学官連携支援の取り組みを開始いたしました。さらに、大学や自治体等との連携のもとでの新規事業創出、地域経済の活性化を目指して平成13年度から平成18年度にかけて、JSTイノベーションプラザおよびJSTイノベーションサテライトを16カ所に設置してコーディネート活動を開始するとともに、「育成研究」「シーズ発掘試験」「研究開発資源活用型」「地域ニーズ即応型」「地域卓越研究者戦略的結集プログラム」の公募事業を順次開始し、今日に至っています。

このように当機構では地域における産学官連携推進の支援を開始し、本年で15年目を迎えさせていただくこととなり、ここに『JST地域事業15年史』を刊行することといたしました。なお、地域イノベーション創出総合支援事業は、先の行政刷新会議・事業仕分けにて、地域における産学官連携の推進は国主体ではなく地域主体に実施すべきとの評決を受け、平成25年度までに終了することとなりました。今後は、地域が主体となって推進していただくことで地域での産学連携を盛り上げていただけたらと強く願っております。

本書では、これまでの15年にわたる当機構の地域事業の歩みと果たしてきた役割を振り返るとともに、成果、実績や具体的な取り組みの成功事例などを記載しております。これからの地域における産学連携活動に少しでもお役立ていただけますと幸甚です。

15年にわたる関係各位のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（平成23年３月）